

地中埋設物調査の結果

旧中島地区被爆遺構の展示整備に関連し、旧天神町筋の位置の手がかりを探すため、民間事業者（ジオ・サーチ株式会社）に委託し、図1のグレー網掛け範囲においてマイクロ波による地中埋設物調査を行い、旧天神町筋や側溝の痕跡を示すアスファルト又はモルタルの検知を試みた。

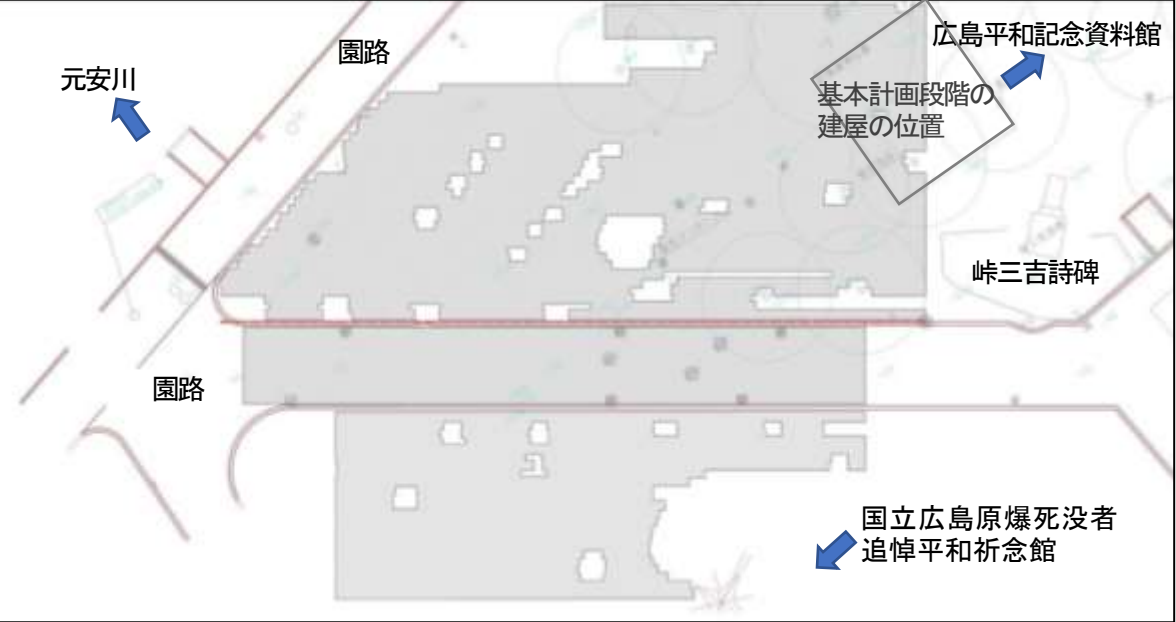


図1 調査範囲（約 1,000 m²）



図2 水道・下水道・電力などの埋設管と思われる反射信号が検知された場所（深さ 0.3m～1.5m 程度）

【注意事項】

- 1 この調査は、凡例の調査基準点及び調査基準線を基準として実施している。
- 2 探査深度は 1.5m 程度まで。ただし、小口径の埋設管（φ50mm 程度）などについては検知できていない場合がある。
- 3 構造物（マンホールや縁石等）の近くでは誤差が大きくなることもある。
- 4 水道・下水道・電力などの管路を表示する線が途切れている箇所については、埋設管があるにもかかわらず地中の瓦礫や樹木根などが原因で検知できていない可能性がある。

凡 例		
調査範囲	[Gray Hatched Box]	
調査基準点	[Circle with Cross]	
調査基準線	[Red Dashed Line]	
水道	下水道	電力
[Red Line]	[Blue Line]	[Yellow Line]
不明管 その他	アスファルト	モルタル
[Gray Line]	[Purple Hatched Box]	[Blue Hatched Box]
石材		
[Blue Hatched Box]		

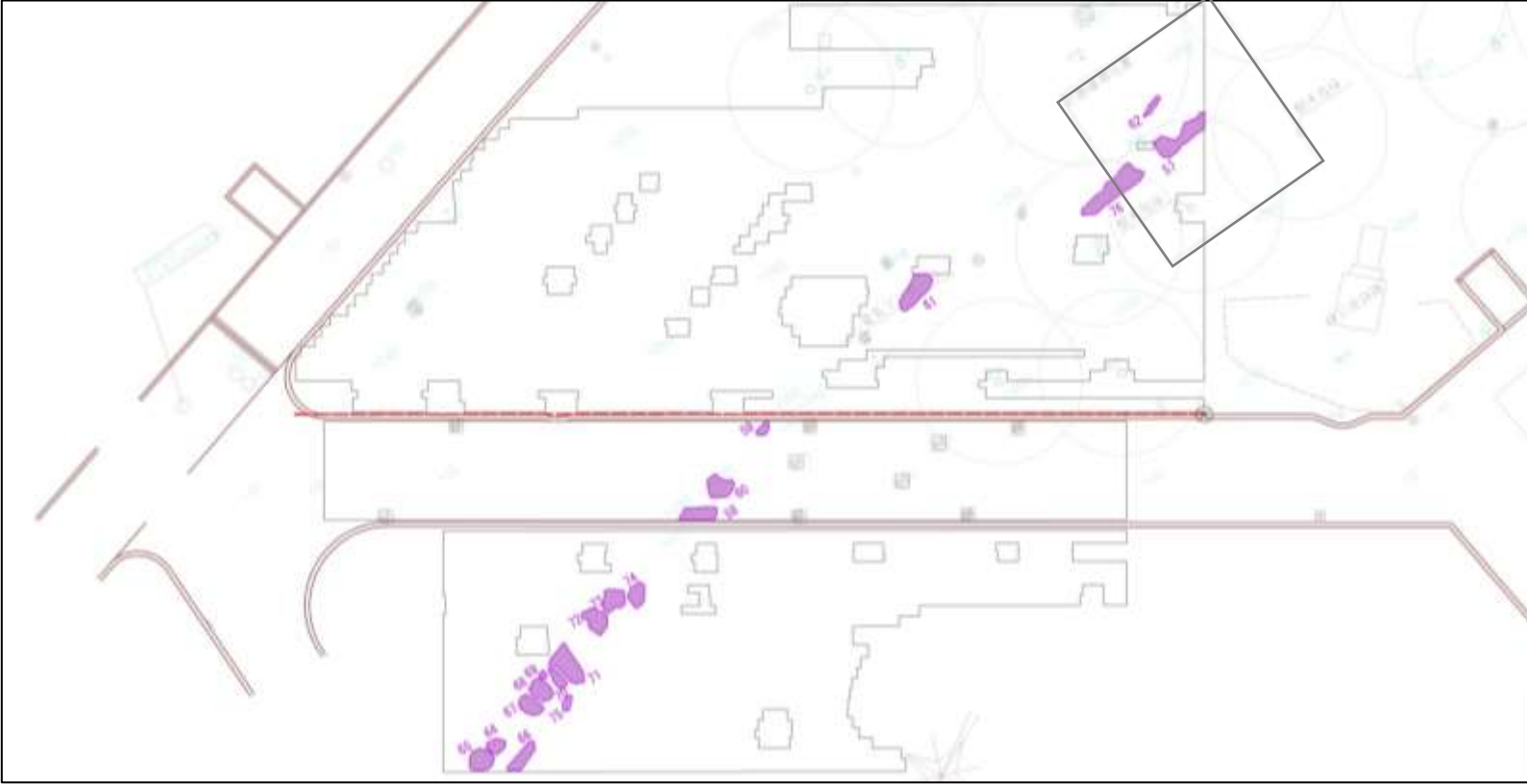


図3 アスファルトと思われる反射信号が検知された場所（深さ 0.6m 程度）

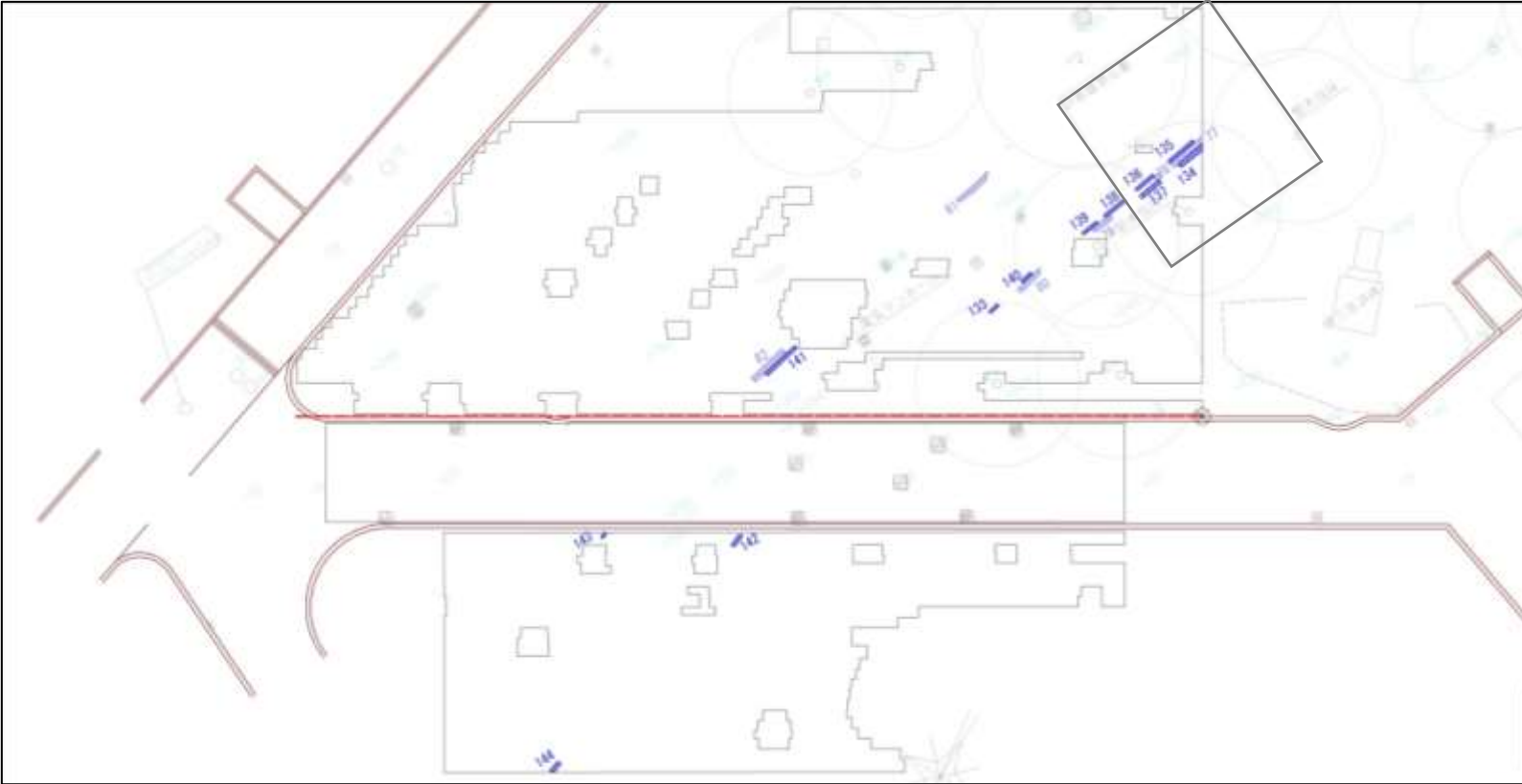


図4 モルタル・石材と思われる反射信号が検知された場所（深さ 0.6m～0.75m 程度）